まとめ・編集部

トナカイ

家畜を飼う生活って、どんなの？
飼ってる人に聞いちゃいましょう！

サンタさんのトナカイ、日本にもいたよ！

教えてくれる人 ● 恩田 猛さん、由佳さん

北海道幌延町在住。夫婦2人でトナカイ120頭の飼育、繁殖、解体、肉の販売のほか、町のトナカイ観光牧場のトナカイ60頭の飼育管理もしている。

牧場はどんなの？

廃業になった牧場を丸ごと購入。敷地面積50ha◆のほとんどは牧草地。
放牧地の面積は3haで、約120頭のトナカイが暮らしている。

水飲み場

放牧地の中を自然の小川が流れている

牧草ロールの倉庫

6月と7月の2ヵ月間で、牧草を刈り取って1年分の牧草ロール(300個)をつくる。この時期が1年で一番忙しい！

食肉処理場

コンテナを改造して猛さんが手づくりした

トナカイといえば、クリスマスの夜、サンタさんを乗せたそりを引いて夜空を駆ける光景を思い浮かべるよね。でも、本物のトナカイを見たことのある人はほとんどいないのでは？　それもそのはず、トナカイは北極圏の周辺にしか生息していない動物なんだ。

でも、北海道に本物のトナカイを飼っている人がいるよ！　飼い主の恩田猛さんは、日本でたった一軒のトナカイ農家。トナカイのお肉を販売するために100頭以上も飼育している。恩田さんは、エサのほとんどを外国から輸入した穀物に頼っている畜産に疑問を感じ、人間の食べない草で成長してくれる家畜を飼いたいと調べていくうちに、トナカイにいきついた。そして今から約30年前、トナカイの飼育技術を学ぶために単身フィンランドに留学し、10頭のトナカイを連れて日本に戻り、北海道で牧場をはじめたんだ。

◆マークは86ページに用語解説あり